

人を育てる



三島税務署
署長 丸山新次

一般社団法人三島建設業協会の皆様には、日ごろから税務に対して格別なご理解と協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この七月に三島税務署長を拝命しました丸山でございます。前任の笠井同様よろしくお願いします。

三島の地に赴任するのも久しぶりで、前回は、平成二年から四年までの三年間在籍していました。

当時は、署の総務課で様々な仕事をしておりました。署の受付窓口や建物の営繕関係（この時に、建設業協会の会員の方々に接しているかもしれません）、そして、広報と日々悪戦苦

闘していたことを思い出します。

特に、思いに残っているのは、小学生を対象とした租税教育。具体的には、管内の小学校に伺い、授業の1コマをお借りして、税金の仕組みや使われ方の話をしていました。

場所は、基本的には教室

ですが、体育館に児童さんを集まっていたこともありました。

授業の進め方としては、国税局が租税教室用に作成した教材（教科書のようなもの、国税庁作成のアニメビデオ（名称は「惑星アトーン」、それに加えて自手作りの教材です。画

用紙に、「お店」「消費税（当時3%）」「お金」「税務署」「橋・港・道路」などの絵を描き、裏面にマグネットシートを貼り付けて教室の黒板にそれぞれ掲示。

児童の皆さんが払った税金が、どのように流れ、最後は、自分たちの身の回り

で役に立っていることを説明しました。

授業が終わった後、感想文を先生経由で提出していただき、「税金の大切さが分かった」など、概ね当方としては満足する内容でありましたが、中には、難しい質問もあり、回答に困ることもあり

あれから、二十七、八年が経ち、当時の児童さんたちは、今は、立派な社会人として、地元のみならず日本各地、いや世界中で活躍していると思います。

たった一回四十分ほどの授業でしたが、彼ら・彼女らの心に少しでも残り、立派な納税者として地元や日本のために貢献していただいていること信じています。

そして、現在でも三島税務署では、租税教室を行っており、管内の全小学校で実施しています。もしかし

たら、当時の児童さんの子供さんが、今、租税教室を受けることになると思うと感慨深いものがあります。

人に説明する、教えることは、豊富な知識と経験が必要であり、大変難しいものです。さらに、それを継続していくことも大切で

す。私も税務の職場では、職員育成のため、税務大

での研修を継続して行っています。最近では、国際化・ICT化など急激な環境の変化があり、「適正・公平な賦課・徴収」と言う国税の与えられた使命を果たすため、組織として適切に対応していかなければなりません。

情報技術が進化した現在であっても、ソフトやハードを使いこなすのは人であり、人を活かすことがさらに重要となります。

今後の日本は、少子高齢化がますます進み、人口はこれから減少していくことが予想され、各分野で人手不足が深刻化しています。

特に、建設業界では、人手不足と高齢化が問題と言われています。一般社団法人日本建設業連合会の報告によれば、六十歳以上が全体の約二十三%、五十代の割合も約二十一%に達しています。

高齢化に伴って離職が進み推計では、二〇二五年度までに三分の一にあたる約

ある。一般会計予算や国債頼みでなく財政投融资やPPP（官民連携）事業等の活用による柔軟且つ弾力的な財政政策が望まれる。

内閣府が今後約40年間で必要となる公共インフラ施設の維持補修・更新費を試算、事後保全で547兆円に達すると算出した（※1）。

事後保全から予防保全へ、待ったなし。今後の進展によりビッグ・ピクチャーが策定、共有され、会を静岡市内で開いた。

静岡労働局、国土交通省中部地方整備局、静岡県から来賓を招く中、「危険の芽 摘み取る目を持ちろス

クゼロ みんなで高める職場の安全」をスローガンとして、約300人の参加者全員で安全を誓った。

※3 3月29日経済財政諮問会議

土木施工 2018年7月号より転載

第55回全国建設業労働災害防止大会が9月20日・21日、横浜市のパシフィコ横浜で開催された。



濱田 博通氏

全国建災防大会

三島分会では駿豆建設の濱田博通氏に功績賞 建災防三島分会

全国から防災関係者約4200人が参加して行われ、当三島分会から5人が参加して労働災害絶無に向けて心を新たに

した。表彰式では、三島分会より駿豆建設の濱田博通氏が個人賞として功績賞の栄誉に輝いた。

第45回建設業労働災害防止大会開く

建設業労働災害防止協会静岡県支部（石井源一支部長）は10月12日、第45回静岡県建設業労働災害防止大会を静岡市内で開いた。

静岡県労働局、国土交通省中部地方整備局、静岡県から来賓を招く中、「危険の芽 摘み取る目を持ちろス

クゼロ みんなで高める職場の安全」をスローガンとして、約300人の参加者全員で安全を誓った。

※3 3月29日経済財政諮問会議

功績賞に山下正記氏（山本建設）と鈴木仁氏（駿豆建設）、安全標語の優秀賞に宮内康弘氏（小野建設）、佳作に渡辺賢二氏（山本建設）が受賞の栄誉に輝いた。

予防保全へ、ビッグ・ピクチャーを(2)

芝浦工業大学
工学マネジメント研究科 客員教授

谷口博昭



3. 官民の役割分担と連携の強化

インフラ整備・保全の増大するニーズに対応するため、イノベーションを促進するとともに直営から請負、委託等ゼネコン、コンサル等への分業（シェア）を図ってきた。少子高齢化・人口減少の時代、復興道路事業促進PPP等を踏まえた官と民との適切な役割分担の下、官民連携を強化し（情報技術）を活用しつつ地域や現場に応じたインフラ整備・保全を実施することが求められる。

建設業が若者から入職を

敬遠される3K（キツイ、キタナイ、ケケン）職場といわれ久しいが、所謂「担い手三法」により正当な利益を上げ経営環境を改善するとともに、適正な給与・週休2日の定着や良質トイレ等の職場環境の改善を図ることが急務である。

建設業は、地形・地質、気象・気候等現場ごとに異なる一品受注生産産業であり、他産業に比し画一的な生産方式を採用し難い面がある。現場こそ生産性向上と価値を創造し得るのであり、時々刻々変化する現場である。特に、維持管理・更新の現場は現場条件に供用履歴が加わり千差万別且つ複雑である。質の良いイ

ンフラを将来世代にわたリ遺せるよう、官民のパートナーシップ精神の下、多様な入札契約方式の活用と設計積算の改善により適正な価格での受注施工となるよう不断の努力が求められる。

技術の進化のスピードが速い時代、トップと現場や官と民との間でコミュニケーションの向上に努め、知力を結集することが肝要である。現場のイノベーションや創意工夫のインセンティブが働くように迅速で柔軟且つ弾力的なマネジメントが求められる。

建設業は、地形・地質、気象・気候等現場ごとに異なる一品受注生産産業であり、他産業に比し画一的な生産方式を採用し難い面がある。現場こそ生産性向上と価値を創造し得るのであり、時々刻々変化する現場である。特に、維持管理・更新の現場は現場条件に供用履歴が加わり千差万別且つ複雑である。質の良いイ

用紙に、「お店」「消費税（当時3%）」「お金」「税務署」「橋・港・道路」などの絵を描き、裏面にマグネットシートを貼り付けて教室の黒板にそれぞれ掲示。

児童の皆さんが払った税金が、どのように流れ、最後は、自分たちの身の回り

で役に立っていることを説明しました。

授業が終わった後、感想文を先生経由で提出していただき、「税金の大切さが分かった」など、概ね当方としては満足する内容でありましたが、中には、難しい質問もあり、回答に困ることもあり

す。私も税務の職場では、職員育成のため、税務大

での研修を継続して行っています。最近では、国際化・ICT化など急激な環境の変化があり、「適正・公平な賦課・徴収」と言う国税の与えられた使命を果たすため、組織として適切に対応していかなければなりません。

情報技術が進化した現在であっても、ソフトやハードを使いこなすのは人であり、人を活かすことがさらに重要となります。

今後の日本は、少子高齢化がますます進み、人口はこれから減少していくことが予想され、各分野で人手不足が深刻化しています。

特に、建設業界では、人手不足と高齢化が問題と言われています。一般社団法人日本建設業連合会の報告によれば、六十歳以上が全体の約二十三%、五十代の割合も約二十一%に達しています。

高齢化に伴って離職が進み推計では、二〇二五年度までに三分の一にあたる約

ある。一般会計予算や国債頼みでなく財政投融资やPPP（官民連携）事業等の活用による柔軟且つ弾力的な財政政策が望まれる。

内閣府が今後約40年間で必要となる公共インフラ施設の維持補修・更新費を試算、事後保全で547兆円に達すると算出した（※1）。

事後保全から予防保全へ、待ったなし。今後の進展によりビッグ・ピクチャーが策定、共有され、会を静岡市内で開いた。

静岡県労働局、国土交通省中部地方整備局、静岡県から来賓を招く中、「危険の芽 摘み取る目を持ちろス

クゼロ みんなで高める職場の安全」をスローガンとして、約300人の参加者全員で安全を誓った。

※3 3月29日経済財政諮問会議

功績賞に山下正記氏（山本建設）と鈴木仁氏（駿豆建設）、安全標語の優秀賞に宮内康弘氏（小野建設）、佳作に渡辺賢二氏（山本建設）が受賞の栄誉に輝いた。

建設業労働災害防止協会静岡県支部（石井源一支部長）は10月12日、第45回静岡県建設業労働災害防止大会を静岡市内で開いた。

静岡県労働局、国土交通省中部地方整備局、静岡県から来賓を招く中、「危険の芽 摘み取る目を持ちろス

クゼロ みんなで高める職場の安全」をスローガンとして、約300人の参加者全員で安全を誓った。

※3 3月29日経済財政諮問会議

土木施工 2018年7月号より転載

第55回全国建設業労働災害防止大会が9月20日・21日、横浜市のパシフィコ横浜で開催された。

濱田博通氏に功績賞 建災防三島分会



小学生向け租税教育用教材

ICTを活用した機械の導入、女性や元気な六十、七十代の活躍など将来を見据えた取組が必要であると思

います。

結びに、一般社団法人三島建設業協会の皆様には、地元のために更なる活躍、事業のご繁栄を祈念し

ております。

生コンの御用命は下記の会社をご利用下さい

静岡県伊豆生コンクリート協同組合
事務所 〒415-0016 静岡県下田市488-1（EフラットII） 電話（0558）22-9044

☒組合員

天城生コン(株)
〒413-5307 賀茂郡河津町湯ヶ野215-1 TEL (0558)36-8032

伊豆工業(株) 仁科工場
〒410-3513 賀茂郡西伊豆町463-1 TEL (0558)52-0592

熱海生コンクリート販売協同組合
事務所 伊東市吉田字長畑道上1026-37 電話（0557）44-4411

☒組合員

真鶴生コンクリート(株)
神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1898
TEL (0465) 68-1171

㈱サキ工業㈱生コン工場
伊東市萩395
TEL (0557) 37-8585

㈱しょうじ建設函南生コン
田方郡函南町経井沢226-1
TEL (055) 974-0226

㈱新明通産
伊東市吉田字長畑道上1026-37
TEL (0557) 45-3433

野村マテリアルプロダクツ(株)
湯河原工場
熱海市伊豆山大黒崎269
TEL (0557) 80-2141

野村マテリアルプロダクツ(株)
新野村工場
伊東市吉田字長畑道上1026-37
TEL (0557) 45-1366

野村マテリアルプロダクツ(株)
熱海工場
熱海市曽我山1993
TEL (0557) 82-1244

稲村生コンクリート(株)
熱海市上多賀457-1
TEL (0557) 68-1621

㈱富士宇部
東伊豆工場
賀茂郡東伊豆町稲取2230-1
TEL (0557) 95-3168

鉄 骨 の ご 用 命 は 当 社 へ

国土交通大臣認定工場Mグレード

株式会社 大 城 工 業

代表取締役 大城 英一

住所 伊豆の国市神島49-1 〒410-2325

TEL 0558(76)-3299

FAX 0558(76)-5007

マンション計画修繕工事 調査診断・改修工事、保全まで

責任施工・工業会会員

- ・コニシバシステム工業会会員
- ・全国ハーゲン防水美装工業会会員
- ・イサムエラストマー会会員
- ・リポールマイティ工業会会員

株式会社 トニック

静岡県三島市川原ヶ谷230番地の3
TEL 055-973-2056 FAX 055-973-2076

電気設備工事 設計施工

株式会社ダイナナ

代表取締役社長 内 田 豪

本社 三島市梅名371-2

電話(055)977-3511(代)

熱海営業所・厚木支店

大野電機工業株式会社

代表取締役 大 野 文 男

三島市南二日町24-27 電話(055)975-1040(代)

近和電業株式会社

代表取締役 今 瀬 誠

支社 静岡県三島市平成台8番地

TEL(055)986-5211(代)

静岡本社・東京支社

三建だより発刊600号記念 功労者に感謝状

三建（小野徹会長）は10月4日、三建だより600号記念感謝状贈呈を協会の会議室で行った。

感謝状贈呈に当たりあいさつに立った小野会長は、「三建だより」は昭和43年8月の第1号から平成30年8月1日号で第600号満50年の記念号になった。600号記念号については、座談会を開催してこの内容を記事にし、また長年のご功労者に感謝状・記念品を



迫田信行氏へ感謝状贈呈

歴史もやま話

189

銅鐸の謎

～楽器か祭器か～

和泉 清

天智天皇 7年（668）近江遷都に伴い、今の津市滋賀里町に崇福寺が建立されることになった。その地ならしを始めた時のことである。地中僅かな深さから奇妙な形の銅鐸が現れた。それは梵鐘を扁平に押し潰したような筒形で、裾が広がり、上部には紐（つまみ）が、また本体には鱗が備わっている。平安末期の史書「扶桑略記」には、高さ5尺5寸とあるから、約1・7mにもなり、後に言う最大級

の銅鐸であった。その45年後にも大和国長岡野から同じ銅鐸が出土したが、奈良時代においてすでに、既にこれが何であり何に用いられたものか分からなくなっていた。人々は楽器に似ていたことから銅鐸と呼んだ。鐸とは大きな鈴のことである。その後、今日までの千三百余年の間に約500個の銅鐸が出土し、その全てが墓や建物などの設備のな

ら、隠されたような状態で発見されている。このため長い間、いつ誰が何のために作ったものか分からなかった。日本人の祖先が、弥生時代の中頃から後期に特に盛んに作ったものであることが判明したのは昭和になつたことである。しかし、その用途については、未だによく分かっていないのだ。



銅鐸の研究が盛んになるのは大正になってからである。鳥居龍蔵氏は「銅鐸は

楽器であるが祭事にこれを使用した」と主張、つまりシャーマニズムの祭具であると考えた。一方、喜田貞吉氏は、銅鐸の起源を中国の古鐘にあるとした。日本人だけの独創で銅鐸が生れたものではないという点では、今日の朝鮮の小銅鐸に起源を求める説と一脈通じている。中国の鐘も朝鮮の小銅鐸も、音を鳴らす道具である。

三品彰英氏は、銅鐸は弥生時代に盛んだった地的宗教の儀で、地霊や穀霊が宿るところと解釈した。銅鐸は地中に埋めるといって、地霊を鎮め豊穡を約束するといつたのである。このほか、銅鐸は灌漑用水の取り入れ口を祭ったものとか、雨ごい祈願の際の呪具とか、色々な考えが出されている。

銅鐸の型式分類に基づく編年の研究が進み、佐原眞氏の紐の形による四大別九細分は、銅鐸の用途についても深く関わりがあつて興味深い。それによると、最早期の銅鐸は約40×50cmと小型であるが、青銅は厚手



三建建設協会建築委員会（森勲委員長）は9月28日、静岡県建築士会東部支部、並み見学会を開き、総勢20人が参加した。

当日はKei-i まちづくりネットワーク代表の塩見寛氏が「伊豆半島と下田の街の成り立ちと計画意図を探る」と題して、まちの成り立ちなどについてレクチャーを行い、参加者

下田市の街並みを合同視察 なまこ壁の民家などを見学

建築委



石田龍夫社長

勤労者退職金共済機構では毎年10月を「建退共加入促進強化月間」と定め、事業の推進を図っている。この度、この加入促進月間にちなみ、三建会員の三

三和建設が支部長表彰 建退共加入月間

和建設（石田龍夫社長）が共済契約の普及徹底、加入促進と建設労働者の福祉の増進に寄与した功績が認められ、同機構建退共静岡県支部長より表彰の栄誉に輝いた。

なお、同社に対する伝達式は10月4日に開催された役員会に先立ち行われ、小野会長が石田社長に表彰状を手渡した。

JIS工場からより良い製品をお届けします。

コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非共お願い致します。

（営業品目）

土木用間知ブロック・道路用製品他

土 屋 建 材 株式 会社

管 尾 工 業 株式 会社

営業品目

砕 石・割 栗 石
間 知 石・埋土工事

立岩石材(株) 伊豆市船原 (0558) 87-0831
二葉建設(株) 御殿場市新橋 (0550) 82-2087
伊豆地区採石業災害防止協議会

SHINKO

土木/解体工事・不動産事業

本社:伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755
工事部:伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362

産業廃棄物運搬・処分

処分場:伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722

(株)新光重機土木

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号

◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰

電子マニフェスト即対応 (JWNET,e-reverse,e-マニフェスト) 工場見学随時受付

SEKI TRANSYS セキトランスシステム

HP <http://www.sekitransys.co.jp>
本社/〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL<055>988-6868

廃棄物中間処理	管理型最終処分場	クレーン作業
ゼロ正処理対応	サーマルリサイクル施設	
破砕・圧縮・切断・溶融固化	焼却処分	埋立指定廃棄物に対応中
運輸・倉庫	テクパル	
家電リサイクル指定引取場所	住宅設備機器販売	太陽光発電システム販売

三建めぐり

J Aあいら伊豆下多賀支店
共済担当

やまもと ありさ
山本 亜里紗さん

～より親しみやすい窓口に～

「地元で貢献できる仕事がしたい」という思いがあり、大学卒業後、地元の伊東市に本店を置く農業協同組合「J Aあいら伊豆」に就職した。

現在は入組5年目で、今年の4月から伊豆下多賀支店で共済担当として窓口業務に従事している。当初は窓口立ってお客さまに接するのは初めてということもあり、「応対がうまくできず毎日泣いていました」と振り返る。それでも同僚のアドバイスなどを参考にし、半年が経った今では、「自信を持って対応できるようになりました」と成長を実感する。

心がけていることは分かりやすく丁寧



に説明すること。「お客さまが何を求めているのかしっかりと話を聞き、話すときはゆっくりと分かりやすく説明することを大切にしています」。

最近では山本さんを目当てにするお客さんもいるそうで、「より親しみやすく、もっと良い窓口になってファンになってくれるお客さまを増やしたいです」とさらなる飛躍を誓う。

休日は社会人になってから始めた大田楽の練習に力を入れる。笛を担当しており、9月22日に開催された第21回伊東大田楽では華やかな演奏を披露し、観客を喜ばせた。

建設業については、「災害など大変な時こそ作業してください。すごい仕事だと思います」と話してくれた。

現在、台風などの災害が頻発していることから生命・火災保険の相談も増えているそうで、「保険の加入や見直しはJ Aにお気軽に連絡ください」とアピール。

平成3年9月25日生まれの27歳。伊東市宇佐美に在住。



研修で同期と（前列左から3人目が本人）

フランス事情 ③

パリ・リヨン駅の 超豪華なレストラン

三建会長 小野 徹



エッフェルも関与した1867年開業のニース駅

皇太子殿下が、日仏友好160周年を記念して、今年、2018年（平成30年）9月中旬に、初めてフランスを公式訪問された。その日程は、政府専用機でフランス南東部のリヨンに到着後、ブルゴーニュ地方のワイナリーを視察した

後、同じく政府専用機でパリに移動され、日本文化を紹介する「ジャポニスム2018」を見学し、帰国されるというものであった。来年5月のご即位を控えて、皇太子としての最後の外国訪問となるこのことであったが、残念ながら療



フランスの誇る超高速のTGV

て、早くも一八六七年に開業したのが、ニース駅だ。しかも、この駅舎の建設には、一八六〇年開催のパリ万博の目玉である

エッフェル塔で名高い、ギユスターヴ・エッフェルも関与しているというから、歴史の重みを感じる。そんなことから、ニースとイタリアには深い因縁があるが、距離的にも、列車に乗れば、モナコ公国、マントンを経て、すぐにイタリア国境という近さにある。

一方、ニースから、コート・ダジュール（紺碧海岸）を西に向かい、プロヴァンスの中心都市マルセイユを経て、そこから北の

近世に到るまで、諸国家に分割統治されていたイタリアの再統一に向けて、西部のサルデーニャ王国の取った政策が、国境を接するニースと、サヴォイアを、フランスに割譲することを条件に、中部イタリアに對しての支援を得ることだった。

この密約のもとに、一八六〇年、それぞれがフランス領となり、これを受け

パリまでは、フランス版幹線TGVで、五時間二十分もかかってしまう。これは、南仏海岸は一般の線路を使って、各駅停車で、早くも一八六七年に開業したのが、ニース駅だ。しかも、この駅舎の建設には、一八六〇年開催のパリ万博の目玉である

エッフェル塔で名高い、ギユスターヴ・エッフェルも関与しているというから、歴史の重みを感じる。そんなことから、ニースとイタリアには深い因縁があるが、距離的にも、列車に乗れば、モナコ公国、マントンを経て、すぐにイタリア国境という近さにある。

一方、ニースから、コート・ダジュール（紺碧海岸）を西に向かい、プロヴァンスの中心都市マルセイユを経て、そこから北の



「ル・トラン・ブルー」のゴージャスな室内



パリ・リヨン駅

車？で客を拾いながら、ゆつくりと走るからで、内陸部に入ってからが、「TGV（超高速列車）」の名に恥じず、速い。

但し、このTGVは、フランスの国営であるだけに、座席などはゆつたりしているが、予約時期が明確でなかったり、定期的にスタートしても20分も遅れたり、同じ座席のダブルブックがあたり、というような問題点も指摘されている。

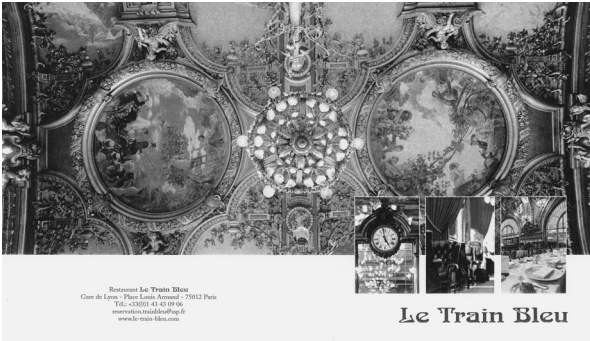
ところで、地中海のマルセイユから、リヨン経由でパリまで、フランスを縦断して改めてわかることは、「フランスは農業国だ」ということと、「パリだけが都会だ」ということだ。実際に、南仏の石灰岩の山を越えると、一部のブドウ畑を除けば、小麦畑と牛、羊の放たれた牧草地が、パリのすぐ側まで続いている。その感を強くする。

反対に、南仏方面からの列車は、パリに六つある重要ターミナル駅のうち、

よくよく聞いてみれば、この駅舎はエッフェル塔に続き、パリにメトロが開業した一九〇〇年頃の「ペール・エポック（よき時代）」のもので、第一次大戦前の列強の「張り合い」の中で、諸国やフランス国民に対して、文明の高さを誇示する



「ル・トラン・ブルー」の入口



天井画をモチーフにした「ル・トラン・ブルー」のメニュー

耐震用構造部材、現場省力化商品、鉄筋加工品など特色有る商品群

- ファブデッキ：耐震性、居住性抜群、重量物載荷でもひび割れ無しの構造床材
- FBRING：閉鎖型せん断補強筋、フラッシュバット溶接で施工性抜群！
- パーメッシュ：異形鉄筋溶接金網、図面で割り付け、現場は置くだけ！
- SHC：熱間成形コラム、鉄本来の粘りを持った新発想の柱材・・・etc、詳しくは、当社営業までお問い合わせください。

ねじ1本からプラント用部材、
高層ビル用鉄骨材料まで
鉄の百貨店

柔軟な発想で鉄の未来をつくる

近藤鋼材株式会社

URL: <http://www.kondo-kouzai.co.jp>

メール: mail@kondo-kouzai.co.jp

沼津営業所 ☎ <055> 925-1900

FAX <055> 925-1970

静岡営業所 ☎ <054> 256-1200

FAX <054> 256-1220

伊豆営業所 ☎ <0558> 87-0500

FAX <0558> 87-1000

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

事務所 沼津市足高338-1 電話 <055> 925-3344(代)
FAX <055> 925-3317

■組 合 員

(株)イワタ沼津工場 二葉建設(株)生コン部

東宏生コンクリート工業株式会社 静岡生コン(株)

三島生コン(株) 野村マテリアルプロダクツ(株)伊豆さくら工場
(有)高田建材 裾野生コン(株)

(株)しょうじ建設函南生コン 渡邊工業株式会社
第一生コン工場

小野建設株式会社 (株)タカムラ生コン
修善寺生コン工場

有限会社長岡生コンクリート (株)古藤田生コン

新スルガ生コン(株) (株)広川生コン



“水”と“空気”と“環境”の良い住い作りに
花のある快適な暮らしのお手伝いをします。

総合設備設計・施工

(沼津市三島市及び近隣市町指定工事店)

株式会社 大石設備 “DAISETSU”

代表取締役 大石 千鶴子

本社／沼津市大岡525-7 TEL<055> 962-7216

FAX<055> 963-4879

三島支／三島市錦ヶ丘3-12 TEL<055> 975-7928

E-mail: daisetsu-soumu@krf.biglobe.ne.jp

創業100年・最新技術・末永いサービス
省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工



片野設備株式会社

代表取締役社長 片野 彰一

ISO 9001
認証取得

〒411-0035 静岡県三島市大宮町3-3-12 TEL 055-971-2205(代) FAX 055-973-5246
E-mail: info@katanosetubi.co.jp URL <http://www.katanosetubi.co.jp>